東京ジャーミイ金曜日のホタバ
2010 年 2 月 19 日

マウリード(灯明祭)の夜

親愛なるムスリムの皆様。アッラーは、世界の始まりの時以来、しもべとの間の結びつきの為に様々な時期、預言者達を遣わされました。全ての預言者達と同様に、預言者ムハンマドもまた、アッラーのご命令と禁止された事柄をしもべ達に伝え、彼らに正しい道を示す任務を与えられた使者なのです。

親愛なるムスリムの皆様。クルアーンは「また使徒があなたがたに与える物はこれを受け、あなたがたに禁じる物は、避けなさい。」（集合章第７節）「言ってやるがいい。『あなたがたがもしアッラーを敬愛するならば、わたしに従え。そうすればアッラーもあなたがたを愛でられ、あなたがたの罪を赦される。』」（イムラーン家章第３１節）といった言葉によって、預言者に完全に従うことを命じています。一方でまたクルアーンは、「かれ（アッラー）の命令に違犯する者は試練が下り、または痛ましい懲罰が科せられるから、用心させなさい。」（御光章第６３節）という言葉によっても、その命令に従わないことが恐ろしい結果を生むことを警告しています。

大切な兄弟姉妹の皆様。全世界の王である預言者ムハンマドは、「誰であれ、私のスンナから顔を背ける者は私の仲間ではない。」とおっしゃられ、そのスンナに従うことが選択の余地なくムスリムであることの必須条件であることを説かれています。なぜならスンナは、預言者ムハンマドが、アッラーのご命令に適した形で振舞うことを目的として実践された生き方であり、進まれた道であるからです。ある意味スンナは、クルアーンの表現を用いるなら「万有への慈悲」（預言者章第１０７節）「立派な模範」（部族連合章第第２１節）「崇高な徳性」（筆章第４節）「あなたがたの悩みごとに心を痛め、あなたがたのため、とても心配している。」（悔悟章第１２８節）という使徒である預言者ムハンマドが示された生き方なのです。ただ、預言者ムハンマドが模範とされることとは、単純な物まねやスンナの枠の中に押し込めるということではなく、全ての方面からそれが知られること、人々の平安と幸福の為に行なわれた呼びかけを私たちの生き方に反映することによって可能となるのです。

親愛なるムスリムの皆様。預言者ムハンマドのスンナは、社会を抑圧や闇、無知といった沼から、公正、天性、幸福の頂点へと導きます。その愛情と光は、偉大な文明や素晴らしい事々の源、そして基盤となりました。しかし人々がその太陽から遠ざかった為に、日々闇が濃さをまして行き、抑圧や涙、弾圧を受ける人々の叫び声が四方を埋め尽くしているのです。全世界が、物質的・精神的危機の中にあるのです。

2 月 25 日木曜日の夜はマウリードの灯明祭にあたります。預言者ムハンマドとそのメッセージが新たに理解され、人々に尊ばれるきっかけとなりますように。イスラーム世界と人々へよいものをもたらすものとなることをアッラーに希います。